

教科名	国語
科目名	言語文化
グレード	高校1年1・2・4・5組
単位数	3単位
対象学年	高校1年

科目の概要	言語文化では、古文・漢文（古典）および近代以降の文学的文章を学ぶ。これらを通して我が国の言語文化に対する理解を深めていく。古典分野では、古文・漢文を学ぶ意義を確認し、基礎的な事項をしっかりと身に付ける。近代以降の文学的文章では、文学的文章を素材に、文学的文章の読解を深めるとともに、思考力・表現力を養う。
科目の目標	【古文・漢文】①「歴史的仮名遣い」や「用言」「助動詞」、「返り点」「再読文字」といった読解のための基礎的知識の復習を行う。②和歌や漢詩についての基礎的知識を身につけ、作品や体験を通じて理解を深める。③著名な作品を通して、古典の理解を行う。【近代以降の文学的文章】作品を読み、読解力を身につけ、思考力や表現力を養う。
使用教科書	『言語文化』（筑摩書房）
使用副教材	いづな書店「古文単語330」、数研出版「体系古典文法」、啓隆社「速読多読」、駿台文庫「古典文法10題ドリル漢文編」、三省堂「全訳古語辞典」、三省堂「漢辞海」、三省堂「新明解国語辞典」
評価の方法	定期考査（年4回）、平常点（単語テスト等）、及び授業の出席状況・積極性などを総合的に見て評価する。
学習の方法	〈予習〉＝可能であれば次の授業で取り扱う内容について「体系古典文法」や「古語辞典」の該当箇所を読んでおく。近代以降の文学的文章の場合は、事前に本文を読み、わからない語句は辞書などで調べておくことが重要である。〈授業〉＝わからない点は必ず質問してほしい。〈復習〉＝学習内容
生徒への一言	古典は高校2年終了時で新出の文法や単語おおよその学習は終わり、高校3年の夏からは問題演習中心の授業になる。ゆえに、高校2年終了時までには文法や重要単語が身につけていることが目標である。特に古文に関しては〔毎時間前の30分の予習＋授業＋10分の復習〕のサイクルに加え、毎週1回の古文単語テストの準備と復習を繰り返していれば、特別なことはなくても読解はできるようになる。また同時に、古典・小説ともに宿題の問題集として課される初見の文章に取り組み、多読や速読の練習を行うことも肝要である。

月	授 業 予 定
4月	【古文】教科書「竹取物語」【漢文】「返り点」※随時「速読多読（小説）」を行う。
5月	【古文】教科書「竹取物語」【漢文】「再読文字」「漢文の構造」※随時「速読多読（小説）」を行う。
	5月下旬 前期中間考査
6月	【古文】教科書「伊勢物語」【漢文】「漢文の構造」「漢和辞典の使い方」「白文を辞書を使って読む」※随時「速読多読（小説）」を行う。
7月	【古文】教科書「伊勢物語（芥川）」【小説】教科書「待ち伏せ」
9月	【古文】教科書「伊勢物語（芥川・東下り）」【小説】教科書「待ち伏せ」
	9月下旬 前期期末考査
10月	【古文】教科書「伊勢物語（東下り・筒井筒）」【漢文】教科書「推敲」「借虎威」、文法※随時「速読多読（小説）」を行う。
11月	【古文】「伊勢物語（筒井筒）」【漢文】教科書「管鮑之交」「刺客荆軻」、文法※随時「速読多読（小説）」を行う。

	1 1月下旬 後期中間考査
1 2月	【古文】教科書「土佐日記（門出）」【小説】教科書「羅生門」
1月	【古文】教科書「土佐日記（馬のはなむけ）」【小説】教科書「羅生門」
2月	【小説】教科書「羅生門」（終わるまで）【古文】「土佐日記（帰京）」【漢文】漢詩、文法
	2月下旬 後期期末考査
3月	詩、漢文復習、【古文】「方丈記（ゆく河の流れ）」など